

2018年度 パフォーマンス向上会議不適合報告情報(2018年 5月 9日(水)分)

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年 5月 9日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 3 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	2号機	原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)ケーシング温度指示計において、指示値不良(停止中のため室内温度相当のところ、高い温度を指示)が認められたため、当該温度指示計を点検・修理。	GⅢ	
2	4号機	原子炉冷却材浄化系ろ過脱塩器(B)流量調節弁において、駆動部締付ボルト周辺から微少の駆動用空気の漏えいが認められたため、当該弁を点検・修理。 なお、当該弁の作動に影響なし。	GⅢ	
3	4号機	建屋内排水系直流125V(A)バッテリー室(非管理区域)において、シンク排水ライン下部に漏えい(約20秒に1滴程度)が認められたため、当該部を点検・修理。 なお、応急処置として、防水テープにて補修済み。	GⅢ	